

山崎法（法）、醫學博士、法學・醫學博士。明治二十一年七月五日千  
葉縣生れ、昭和四十二年七月二十日没（ススハ一九六七）。大正二年東京  
帝國大學法科大學ドイツ法律科卒。判事となり、また東京帝大講師と  
して初の醫學法法制學講義。爾後九州帝國大學、慶應義塾大學他各地醫  
科大學に出席。東京地方裁判所判事として原敬の暗殺事件等を擔當す。十  
一年退官して醫學專門の辯護士となる。この間日本醫史協會理事、昭  
和十七年の日本醫史協會會長、ついで日本辯護士連合會會長に務めた。  
著書に『法學演義』(昭和十一年四月千石文光堂)、『醫學教義』(昭  
和二十二年六月千石日本臨牀社)等。

